

## ヨーロッパの Audi e-tron を充電するグリーン電力を強化

これは大きな挑戦です。アウディは 2050 年までにカーボンニュートラル\* を全社的に実現することで、パリ協定を遵守するという**責務**を果たしたいと考えています。アウディブランドは、従業員、パートナー、お客様と共にこれを達成するために、特にヨーロッパを走行する Audi e-tron を充電するグリーン電力の強化に取り組んでいます。車両に関する CO<sub>2</sub> 排出量削減の主要な要素は、その利用段階です。このプロセスは、お客様によって車両が使用される全期間にわたり、燃料または充電する電力が重要になっています。また、この段階では、車両がその**ライフサイクル**で排出する CO<sub>2</sub> の約半分が生成されます。

### グリーン電力は持続可能性の実現に不可欠

このように、アウディは CO<sub>2</sub> 排出量を削減するための重要な手段として、電気自動車の充電に使用する電力に焦点を当てています。例えば、アウディのお客様は、フォルクスワーゲンの子会社である  **Elli**  (Electric Life) が提供するグリーン電力を、自宅で**充電**することが可能です。外出先での充電では、充電ネットワーク  **IONITY**  もグリーン電力を提供しています。アウディも参加しているこの合併事業では、2025 年までにヨーロッパの 1,000 か所以上に、最大 320kW の出力を備えた 5,000 を超える追加の急速充電ポイントを設置することを目指しています。さらに、Audi e-tron チャージングサービスにより、ヨーロッパ全土において 35 万を超える充電ポイントを利用可能です。

次のステップとして、まだグリーン化されていない充電プロセスをカバーするために、2025 年までに数社のパートナーと協力して、ヨーロッパのさまざまな国で新しい風力発電および太陽光発電所の建設が予定されています。これらを合計すると、約 5 テラワット時の追加のグリーン電力が生成されます。これは、約 250 基の風力発電タービンを新設した場合の発電量に相当します。

### グリーン電力の強化

その目的は、ヨーロッパの電力網におけるグリーン電力の量を増やすことです。このイニシアチブにより、新たに電気自動車を購入したお客様が、再生可能エネルギーによる電力で充電を行い、従来の電力消費量を相殺できるようになります。その過程で、アウディは再生可能エネルギーの新しい供給源を拡大することに取り組んでいます。

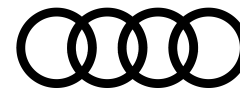
アウディはパートナーと協力して、電気自動車の販売台数を増やすだけでなく、再生可能エネルギー源から生成される電力の割合を増やすことを目指しています。

Audi Q4 40 e-tron の**ライフサイクル分析**は、この取り組みが価値があることを示しています。利用段階で 100%グリーン電力を使用して車両を充電すると、潜在的な温室効果ガス排出量を約 45%削減できます (約 14.3 トンの CO<sub>2</sub> に相当)。

### 5 万世帯、172 メガワット、42 万枚のソーラーパネル

ドイツで**グリーン電力の供給を拡大**する最初のプロジェクトは、ドイツのメクレンブルクフォアポンメルン州にあるソーラーパークです。この太陽光発電所は、ドイツの公益事業会社 RWE と共同で建設されました。このプラントは 2022 年初頭に稼働を開始し、総発電能力は 1 億 7,000 万 kWh を想定しています。このプラントは、太陽エネルギーから、毎年 5 万世帯が使用するのと同じ量の電力を生成します。

このソーラーパークは、350 のサッカー場とほぼ同じ広さに相当する敷地に、約 42 万枚のソーラーパネルを設置した、ドイツ最大の太陽光発電所の 1 つです。スペインでは、3 か所の太陽光発電所と、1 か所の風力発電所を 2021 年にすでに稼働しています。さらに別の風力発電所が、スウェーデンとフィンランドにそれぞれ建設されました。また、ヨーロッパ全域で追加のプロジェクトが進行中です。これらは、主に充電需要が高い地域で計画されています。



アウディは、プレミアムサプライヤーとして、お客様のニーズを念頭に置きながら、包括的なアプローチを採用しています。アウディはまた、ヨーロッパでのグリーン電力と充電ネットワークの拡大への取り組みならびにアドバイスをを行い、家庭用充電ソリューションの設置をサポートしています。

---

\* CO<sub>2</sub> 排出量「正味ゼロ」に関するアウディの解釈とは、あらゆる削減対策を採用した後で、アウディの製品や活動によって排出される、もしくはアウディのサプライチェーン、製造、リサイクルにおいて現段階では排出が避けられない CO<sub>2</sub> は、世界各地で実行する自主的プロジェクトで相殺するというものです。車両の使用段階で排出される CO<sub>2</sub>、すなわちお客様へ納車された時点から発生する CO<sub>2</sub> 排出量は考慮されていません。